

検査内容変更案内漏れのお詫び

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記項目にて検査内容変更のご案内が漏れていたことが判明し、取り急ぎご案内させていただきます。

弊社の不手際により先生方にご迷惑をお掛けいたしますことを深くお詫び申し上げます。

敬具

記

■対象項目/変更内容

頁	項目コード	検査項目名	変更内容	新	旧
48	2127	サイログロブリン	検査項目名	サイログロブリン[CLEIA]	サイログロブリン
			検査方法	CLEIA	ECLIA
			基準値	35.1 以下 (ng/mL)	33.7 以下 (ng/mL)

※変更後の検査要項および新旧二法の相関は裏面をご確認ください。

■変更期日

- 直ちに変更

以上

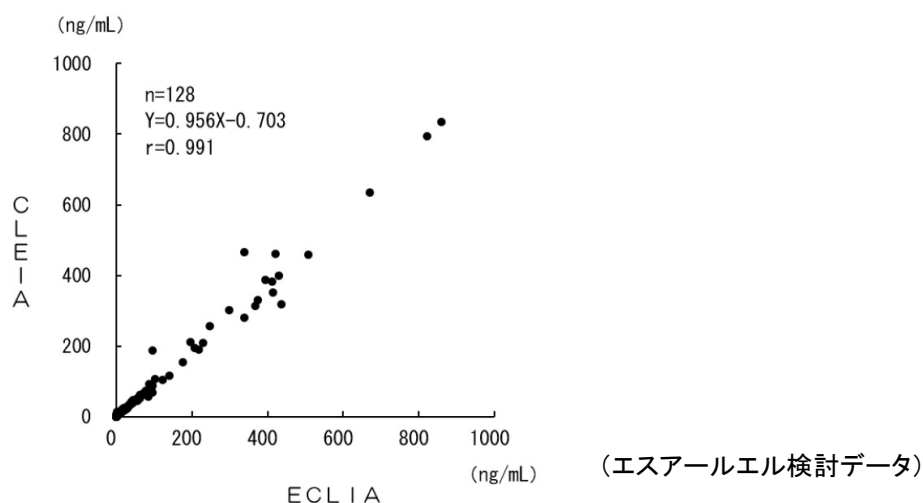
サイログロブリン〔CLEIA〕

サイログロブリン(Tg)は、甲状腺濾胞細胞のみで合成される分子量 66 万の糖蛋白です。Tg は、甲状腺ホルモンの貯蔵型として甲状腺濾胞腔内で貯えられ、TSH の刺激により、ペルオキシダーゼ作用で T3 や T4 の合成が行なわれます。よって、Tg は臓器特異性が高く、さまざまな甲状腺疾患のマーカーとなります。特に、甲状腺濾胞からの漏出状況の指標となり、甲状腺分化癌の手術後評価、および術後の再発・転移マーカーとして使用されます。また、バセドウ病での治療の効果、寛解の指標、先天性甲状腺機能低下症の病型決定などにも有用です。画像診断との組み合わせにより、結節性甲状腺腫の術前診断や良性の甲状腺疾患と悪性腫瘍とを鑑別する可能性も示唆されています。

■検査要項

項目コード	2127
検査項目名	サイログロブリン〔CLEIA〕
検体量	血清 0.5 mL
容器	→01
保存方法	冷蔵
所要日数	3～6 日
検査実施料	133 点（「D008」内分泌学的検査「17」）
判断料	144 点（生化学的検査（Ⅱ）判断料）
検査方法	CLEIA
基準値(単位)	35.1 以下 (ng/mL)
報告範囲(単位)	0.06 未満、0.06～99900000 (ng/mL)
桁数	有効 3 桁、整数 8 桁、小数 2 桁
備考	
検査委託先	エスアールエル (→5)

■新旧二法の相関



■参考文献

- 北村 由之, 他: 医学と薬学 77(12):1683～1690, 2020. (検査方法参考文献)
武田 京子: ホルモンと臨床 59(6):517～523, 2011. (臨床的意義参考文献)